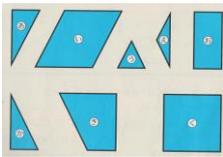


平成30年度 算数科授業の略案 (2年A組)

月日 (校時)	単元名	教材名
10月4日 (木) (3校時)	三角形と四角形	形をしらべよう
本時のねらい (本時 2/10) ○辺や頂点の数に着目して図形を分類する活動を通して、三角形、四角形の意味や性質を理解する。		
評価規準 関 図形の辺や頂点の数に着目して、図形を分類することができている。(ワークシート・発言) 知 三角形、四角形の意味や性質を理解することができている。(適用問題、ノート、発言)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価
【導入】 10:20	・提示したパズルのピースを手がかりに、前時の活動を想起する。	・8つ異なる形のピースを使い、例示した形を作る活動を行ったことを想起させる。
問題提示 10:22 課題把握 10:38 問いの共有 ・シラバス ・言語わざ 10:28 自力解決 10:33 集団解決 ・ペア学習 10:35 ・全体学習 ・考察 10:50 まとめ 10:56 適用問題	1 問題を知る。 形を2つのなかまに分けよう。  2 課題を確認する。 形を2つのなかまに分け、そのりゆうをせつめいしよう。 ○どこに目をつけて分けるとよいでしょう。 ・直線の数が3本のと4本のあるから、直線の数で分けられます。 ・かどの数も違うのがあるので、分ける手がかりになると思います。 ・「さんかく」と「しかく」に分けられると思います。 《1人でチャレンジ(5分)・ペア学び(2分)・全体学習(15分)・まとめ(6分)・適用問題(6分)・振り返り(3分)》言語わざ：キーワードを使う 3. 8つの形を2つのなかまに分ける。 4 なかま分けした結果について話し合う。 ○どのように分けたか(分け方)と、分けた理由を説明しましょう。 ・㊸㊹㊺と㊻㊼㊽に分けました。 ・㊸㊹㊺は、直線の数が3本あるからさんかくのなかまです。 ・㊻㊼㊽は、かどの数が4つだから、しかくのなかまです。 ○2つのなかまを比べて、気付いたことを言いましょう。 ・かどの数も直線の数もさんかくは3でしかくのなかまは4です。 5 三角形や四角形の定義や用語「へん」「ちょう点」について知る。 定義：3本の直線でかこまれた形を三角形という。 定義：4本の直線でかこまれた形を四角形という。 三角形や四角形の直線のところ→へん かどの点→ちょう点 2つに分けた形は、三角形と四角形。三角形は、直線が3本で、ちょう点が3つある。四角形は、直線が4本で、ちょう点が4つある。かこむ直線の数やちょう点の数がちがう。 6 適用問題に取り組み、結果を確かめる。	形 かど 直線 かどの数 直線の数 さんかく しかく ・各自のパズルピースを机上に並べ、分類の観点(分ける手がかり)を考えさせるようにする。児童から出ない場合、教科書99ページの2人のつぶやきを手がかりにさせる。 ・ハンドサインチェックを行い、見通しが持てない児童には、個別に「かどの数」等の手掛かりを示唆する。 ・自力解決が進みにくい児童には、近くの児童にヒントをもらってよいことを伝える。 関 図形の辺や頂点の数に着目して、図形を分類することができている。(ワークシート・発言) ・ワークシートに分類させ、早くできた児童には、理由も書かせる。 ・ホワイトボードに貼り、説明させる。 ・補助黒板を使って、児童の考えを掲示させるようにする。 ・定義については、ワークシートに書くよう指示する。 知 三角形、四角形の意味や性質を理解することができている。(適用問題、ノート、発言) ・直線で囲まれていない形を扱うことで、三角形も四角形も「直線で囲まれた形」であることをおさえる。
【終末】 ふりかえり 11:02	7 学習したことを振り返る。	・振り返りの視点にそって、できるようになったこと、分かったこと、友だちから学んだことを記述させる。